

2014.7月号 広報～風・菜・樹 ふなき便り

社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

梅雨に出かけてきました♪

生活支援センター日中一時支援の利用者さんと一緒に、6月28日（土）に秋吉台サファリランドに行ってきました。時折雨の降る天気でしたが、昼食はバイキング、秋吉台サファリランドではふれあい動物広場でキリンやシカ、ゾウやガチョウなど多彩な動物を見たり触ったりし、参加された皆さん楽しまれていました。



● ガチョウが沢山寄ってきました。



● 大きなカメでした！



● 小雨の中、園内を散策しました。



● バイキングでお腹いっぱい！



● 象が近くまで寄ってきて、迫力満点！！



当法人障害福祉サービス事業部の各事業所の利用者皆さんから有志を募り、日頃の運動も兼ね、社会福祉法人光栄会の皆さんとソフトボールの練習試合をしてきました。当日は天候にも恵まれ、気持ちの良い汗をかいてきました。2試合行ない、白熱した試合の結果は1勝1敗でした。毎年光栄会の皆様とこのようなソフトボールの練習試合をさせていただいておりますが、今後も継続して交流が持てたらと思います。



● 皆さん揃っての開会式。



● ベンチの様子。ウォームアップや作戦会議中です。



● ナイスピッ칭？？



● ボールを待つ視線は真剣そのもの！

宇部総合特別支援学校からの見学

梅雨の晴れ間の6月、宇部総合支援学校から生徒の皆様が、ハイツふなきとサムラの就労継続支援B型事業の見学に来られました。19日（木）に高等部1年生の生徒さん60名、27日（金）に中学部3年生の生徒さん20名です。

例年、宇部総合支援学校の生徒の皆様が事業所見学に来られており、今年は両日とも天候に恵まれました。

軽作業、地域活動作業の見学

ハイツふなきでは、軽作業を行っている作業棟の中の様子と外で地域活動作業（地活）での草刈り作業を見学していただきました。

生徒さん達にも身近なものである「自転車」の部品の組立作業。実際に手に触れてみて、ひとつの成果に対するさまざまな工程があることを体験していただきました。

地活の草刈り作業見学では、実際に草刈機を使ったデモンストレーションを行い、地域に出ての作業を通して、実際にお客様と接する機会がある楽しさがあることを説明致しました。



サムラの見学



サムラでは、食事の準備をしている様子やパン工房でパンの成型をしている様子を見学していただきました。実際の業務の様子を見て、「大変そう」「食事がどのように作られているのかわかった」との声がありました。

障害を持っている方が一生懸命作業されている様子は、生徒の皆様の目にどのように映ったのでしょうか。とても興味津々で最後まで見学されておられました。

まだ将来の事は上手く想像できない様子ではありましたが、これから色々な経験をしていくお手伝いが出来ればと思う、2日間でした。

ハイツ・ヴィラ 家族会の様子

6月29日（日）にハイツふなき・ヴィラふなき合同で家族会を開催し、今回は13家族にご来所いただきました。

毎年家族会はハイツ・ヴィラ合同で年2回実施しており、今回は2013年度事業報告、並びに2014年度事業計画の説明と近況報告を行ないました。

また、今回はご家族にとって話を聞いて質問するだけの会に留まらず、参加型の家族会を目的として、利用者・ご家族・職員の3者で協力し、軽食（ホットケーキ）を作りました。

ご家族の前で利用者の方が率先してホットケーキを焼いたり、ご家族が準備を手伝って下さったりして、和気あいあいとした雰囲気の中で見事なホットケーキが沢山焼き上がりました。

参加された皆様からは「とても楽しかった」、「普段利用者の方と接する機会が少ない為、頑張っている姿が見れた」との感想をいただきました。



シリーズ 職員勉強会 ~感染症について~

梅雨の時季、これから暑くなるにつれて食中毒に一層の注意しなければならない為、今月は安全衛生委員会が主体となって「感染症について」というテーマで講義を行いました。

もちろん各事業所ともに感染症・嘔吐物処理等に関する知識・技術に基づいた対応方法は平素から念頭に置いて支援を行っておりました。しかし、突然細かい知識を問われると思い出せなくなるというもの。講義前半に感染源と感染症の名前を結びつけるテストを行いました。写真の様に参加職員が悩んでいる姿が印象的でした。しかし、そこは参加職員！全員正解でした！

後半は解説等を聴きながら、実際に嘔吐物処理の演習をグループに分かれて行いました。この4月に入った新任職員や、まだ嘔吐物処理を経験したことのない職員は、率先して取り組みました。

今後も必要となる知識の取得に力を入れていくと同時に演習等も交えながら、より実践的な勉強会にしていきたいと思います。



QC活動について

QCとは、Quality Controlの略で、製品の質の維持・向上を目的とした活動を指します。元々は製造業での不良品を無くす為の原因追究・改善の為に生まれた活動ですが、近年は製造業のみならずサービス業や福祉業界においてもサービス・支援の品質向上の為に取り組まれています。

私たち障害福祉サービス事業部においても各事業所毎に1年をかけてQCに取り組んでおり、その活動もはや10年が経ちました。

QC活動には一定の活動ルールがあります。テーマの選定から始まり、具体的データに基づいた現状把握や早い段階での目標値の設定、対策とその効果の確認、最後に活動が今後も繋がっていくような歯止めと反省という流れで行なっています。

福祉業界においてQC活動の目的は、利用者へのサービスの向上や職員の資質向上、明るい職場作りと言えます。この活動を通して、皆の笑顔に繋がるよう努めて参ります。

QCの手順

- | | |
|-------------|---------------------------|
| ① テーマの選定 | → 問題の確認 |
| ② 現状把握 | → 問題の特徴の分析 |
| ③ 要因解析 | → 主要な原因の追究 |
| ④ 対策の立案と実施 | → 原因を取り除くための処置 |
| ⑤ 効果の確認 | → 処置の効果の確認 |
| ⑥ 歯止めと標準化 | → 原因の恒久的な除去 |
| ⑦ まとめと今後の課題 | → 改善活動の反省と
今後の課題に対する計画 |

スタッフちゃんねる

4月よりハイツふなきに入職しました、千々松大介と申します。以前はヴィラふなきで世話人として在籍し、この度は縁があってハイツふなきの生活支援員として、利用者の皆様のご支援をさせていただいております。ハイツふなきは、障害をお持ちの方の生活訓練・地域移行の施設として、今後も期待が高まっていく場所です。その助力となるべく日々を大切にし、利用者の皆様の人生の一端を担っているんだという意識を持って、業務に携わっていきたいと思っています。

さて、私が入職して早4ヶ月が経ちます。担当する業務の一つに、広報紙の制作やブログの更新を行う、広報委員会があります。日中活動や個別支援以外の、余暇時間での関わりにも重点を置く為、利用者の皆様の素顔の部分にふれること多くあります。障害・疾病による特性と、そういう個人の根底にある性格を考慮しながら、適切な支援を提供できるよう努めています。また、その事業活動の様子はもちろん、利用者の皆様が楽しく生活されている様子にもスポットを当て、当法人障害福祉サービス事業部の強みを広報紙やブログを通じて発信できればと思います。

初心を忘れず多くのことを学び、私自身も楽しんでいきたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

広い視野をもって
頑張ります！



次長の主張

今月から新コラムコーナー「次長の主張」がスタートします。

障害福祉サービス事業部の3名の次長がそれぞれの個性を活かして執筆します。

今後は、佐伯所長の「今月のエソラゴト」と隔月で掲載していきますので、ぜひご覧下さい。

今年も暑い夏がやってきましたが、皆様いかがお過ごしですか。夏バテ対策は万全ですか。夏バテ予防と言えば、やはり一番に鰻が思い出されます。そこで、今日は鰻について少々うんちくをご紹介します。

「鰻と梅干の食べ合わせは悪い」という言葉を聞かれたことはありませんか。私も遠い昔（そこまで遠くはないかも・・・）子供の頃に祖母から聞かされ、子ども心に不思議に思った記憶があります。そこで根拠を調べてみました。「鰻の脂っこさと梅干の強い酸味が刺激し合い、消化不良を起こすとされた」とありました。しかし、梅干は胃酸を濃くして鰻の油分の消化を助ける事から、医学的観点からすると逆に良い食べ合わせで、言い伝えに根拠はないそうです。ただ、消化を助ける事で食欲を増進させ、高価な鰻を沢山食べる事に繋がる事から、贅沢を戒める為に生まれた言い伝えではないかと言われています。堅実でもったいない精神を持つ日本人ならではの知恵ですね。

鰻に限らず、バランスとれた食事と質の良い睡眠、適度な休息で、今年の夏を乗り切りましょう。

ハイツふなき・ヴィラふなき 次長 土田 美由紀

4月から精神保健福祉法の一部改正があり地域の相談支援事業所として今まで以上に宇部圏域を中心に精神科病院に入り出しが多くなりました。病院の中では主治医や看護師・相談員などいろいろな立場の医療職の人たちと接することができ、改めて障害福祉サービスの利用調整のみに固執することなく利用者の方や関係者の方々の想いに耳を傾けていくことの重要性を日々痛感しています。

これからもさりげなくウォーキングを続けていきながら皆さん気が気づかないうちに痩せていき、圏域を他のスタッフとともに動き回っていこうと考えていますのでお気軽にお声掛けいただければ幸いです。

生活支援センターふなき 次長 牧 憲一郎

当コラム初登場になります、サムラの小松です。今回は私の趣味の一つである競馬について書きたいと思います。競馬での戦法には「逃げ」「先行」「差し」「追い込み」の4つがあり、その中でも私が一番好きなのが「逃げ」です。「差し」や「追い込み」と違い派手さはないのですが、勝っても負けても常に自分の全力を出し切ります。私たちの人生でも全力を出し切ることは非常に大切なことだと思います。成功しても失敗しても全力を出し切った結果であれば達成感や満足感を感じるでしょうし、必ず今後の糧にもなると思います。そういう意味で私は「逃げ」馬が大好きで、自分自身も「逃げ」馬のように常に全力を出し切る「男」になりたいと思っております。

サムラ 次長 小松 肇史

CHECK!

〒757-0216

社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業部
山口県宇部市大字船木833



ハイツふなき

(0836)67-0188 自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型

ヴィラふなき

(0836)67-1883 グループホーム(介護サービス包括型)

・生活支援センターふなき

(0836)67-2464 相談支援事業・日中一時支援

サムラ

(0836)67-0171 就労移行支援事業・就労継続支援B型

ホームページ <http://www.furoukai.jp/>

ブログ <http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>